

GUIDE OF KITAKYUSHU

# 北九州市 市勢概要2018

GALAXY EXPRESS 999



住みよいまちが  
見つかって  
良かったわね。

一緒に暮らそう、  
今度こそ。

©松本 零士

## 北九州市 市勢概要2018

発行:平成30年9月  
企画編集:北九州市広報室広報課  
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号  
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>  
TEL 093-582-2236 FAX 093-582-2243  
北九州市印刷物登録番号 第1804003B号



2018年9月  
北九州市  
市勢概要

©松本 零士

# 夢を育み、輝く未来を創るまち ~北九州市~

このまちに生まれ、遊び、学び、働く。子どもを生み、育てる。人と出会い、集う。  
 今年2月、市制55周年を迎えた北九州市は、多様なライフステージにおいて、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。  
 ふれあい、つながり、支え合い、夢が育つプラットフォームであり続けます。

## MESSAGE

福岡県の北部に位置する北九州市は、日本海(響灘)と瀬戸内海(周防灘)に囲まれた九州の玄関口です。これまでに、「50歳から住みたい地方ランキング(民間雑誌)」で全国第1位、子育て環境は、「次世代育成環境ランキング(NPO調べ)」で7年連続政令指定都市第1位となるなど、「住みよいまち・北九州市」として認められています。

本市は今年度、OECD(経済協力開発機構)より「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域で初めて選定され、日本政府からは「SDGs未来都市」にも選定されました。本市が環境保全と経済成長を両立させたことや、国際協力を積極的に進めてきたことがSDGsの達成に貢献すると国内外から高く評価され、今後の役割が期待されています。(SDGs:国連が定めた持続可能な開発目標の略)

また、2020年の「東アジア文化都市」事業の開催地に九州で初めて決定しました。これを契機に、多くの皆様とともに文化芸術の持つ力を生かした創造的なまちづくりを一層進めていきます。

この「市勢概要」は、本市の特徴や魅力など「北九州市の今」を感じていただける内容になっています。市民の方にとっては、ふるさとの素晴らしさを再発見するきっかけとなり、市外の方には本市への招待状となることを願っています。



北九州市長  
北橋 健治

## ACCESS

アジアの中で北九州市は東京と上海の中心に位置し、日本の玄関として機能性が高い都市です。さまざまな公共交通機関網が発達しており、「陸・海・空」すべての交通機能をご利用いただけます。

JR(新幹線・特急)を利用すると

- 東京駅まで約5時間
- 名古屋駅まで約3時間10分
- 新大阪駅まで約2時間10分
- 広島駅まで約50分
- 博多駅まで約20分
- 大分駅まで約1時間20分
- 熊本駅まで約50分
- 鹿児島中央駅まで約1時間40分

北九州空港を利用すると

- 東京(羽田)まで約1時間30分
- 名古屋(小牧)まで約1時間15分

銀河鉄道 999号を利用すると

- 星野鉄郎、メーテルとともにアンドロメダ星雲へ向かいます。

北九州港には

- 東京・大阪(泉大津港、南港)・神戸・徳島・松山行きフェリー航路があります。



## INDEX

特集	P.03
●“故郷”北九州市への思いを語る	
●北九州市の「住みやすさ」を知る	
●「SDGs未来都市」北九州市	
北九州市の“今”をピックアップ	P.09
●就労サポート ●子育て・教育 ●安全と安心 ●産業力 ●環境力	
文化 & スポーツに触れる	P.19
観光 & おでかけMAP	P.21
食の宝庫 de 美味三昧、伝統と技術 de 世界遺産	P.23
北九州市の歴史	P.25
データで見る北九州市、北九州市アラカルト	P.27

## PROFILE 松本 零士 (まつもと れいじ)

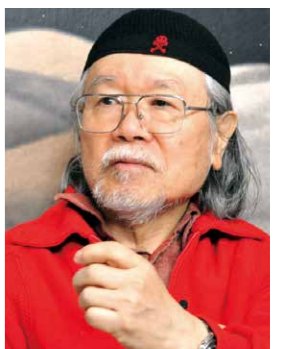
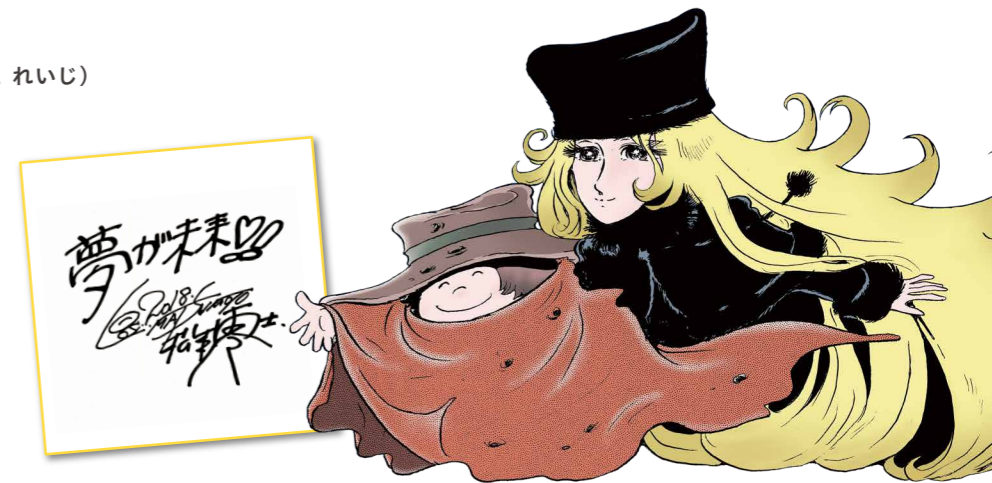
日本の漫画家。本名、松本 晟(まつもと あきら)。北九州市漫画ミュージアム名誉館長。

福岡県久留米市生まれ。小学校3年生のとき小倉市(現在の北九州市)に移る。高校在学時に漫画家デビューし、卒業後に上京。東京都練馬区在住。旭日小綬章、紫綬褒章、フランス芸術文化勲章シュバリエ受章。称号は練馬区名誉区民。

代表作に「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」「宇宙海賊キャプテンハーロック」など。SF漫画作家として知られるが、少女漫画、戦争もの、動物ものなどさまざまなジャンルの漫画を描いている。アニメ製作にも積極的に関わり、1970年代半ばから1980年代にかけては松本アニメブームを巻き起こした。

2018年に80歳を迎え、「松本零士 生誕80周年 プロジェクト」を始動。「銀河鉄道999」の舞台化や新作漫画の発表、作品初の実写ドラマ化、日本酒のラベルデザイン、紙芝居の原作・監修など、新しい活動を意欲的に展開している。

今年度、北九州市下水道100周年を記念して、市内10カ所に設置されたデザインマンホールに、「銀河鉄道999」のイラストを提供。



# “故郷”北九州市への思いを語る

長年人気俳優として第一線に立ち、北九州市制 55周年アンバサダーに就任した草刈正雄さんと、映画や小説、イラストなど多方面で目覚ましい活躍を見せるリリー・フランキーさん。注目を集める二人に、故郷・北九州市への思いを伺いました。



©Hayato Araki



©HIROSHI NOMURA

## PROFILE

### 草刈 正雄 (くさかり まさお)

俳優。1952年福岡県小倉市(現・北九州市)生まれ。17歳で東京、1970年男性化粧品ブランドの広告でデビュー。1974年映画デビュー。その後も映画、ドラマで活躍する。2016年NHK大河ドラマ「真田丸」では真田昌幸を演じ、その演技が高い評価を得た。

## TOPIC

### 北九州市制55周年アンバサダー

北九州市は草刈正雄さんを市制55周年アンバサダーとして任命。1年間にわたって、北九州市の魅力を発信していただきます。



## 少年時代を過ごした街が最近、無性に恋しい

市制55周年という節目の年に、北九州市のアンバサダーという大役を頂いて光栄に思います。私は、現在の小倉北区に生まれ、高校生まで北九州市に住んでいました。高校時代に軟式野球部で全国大会に出場したことが、良い思い出として残っています。歳を重ねると、ふるさとに帰りたいなあと思うようになりました。子どもの頃に遊んだあの場所はどうなっているだろうとよく考えます。

市制55周年を迎えたことをきっかけに、もっとたくさんの人に私の大好きな北九州市のことを知ってほしいですね。

## 万人を受け入れてくれる懐の深いふるさと

55年前に小倉記念病院で生まれたボクと、同時期に名付けられた北九州市。それだけでも郷土愛を感じますし、北九州市に帰ってくると、ふるさとの良さに気付かされます。排他的なところがなく、誰でも分け隔てなく人をもてなす風土があるのです。

ボクが住んでいた頃と違い、最近の北九州市では、映画の撮影が行われたり、劇場で演劇があったり、音楽のライブも開かれています。元々あった城下町という歴史に、人をもてなす風土や、ものづくりの街という気概、そしてここ数十年で培われたこのような文化的な土壌が合わさって、魅力的な街に発展してきました。

これからは、その魅力をどんどん外に発信して、誰が来ても楽しい街にしたいと思います。

## PROFILE

### リリー・フランキー

1963年福岡県小倉市(現・北九州市)生まれ。武蔵野美術大学卒業。イラストレーター、文筆家、絵本作家、フォトグラファー、俳優などジャンルを越えた活動を行っている。初の長篇「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」で2006年本屋大賞を受賞。味わい深い演技が評価され、多数の映像作品に出演。2018年、主演作品「万引き家族」が第71回カンヌ国際映画祭最高賞・パルムドールを受賞した。



# 北九州市の「住みやすさ」を知る

北九州市は、都会の便利さと田舎の快適さをあわせ持ち、幅広い世代が住みやすさを実感できるまちです。子育て支援、シニアライフ支援、物価の安さ、充実した医療支援などが高く評価され、さまざまなランキングで日本一に選ばれています。



勝山公園(小倉北区)

## 次世代育成環境ランキング 7年連続第1位!

第13回「次世代育成環境ランキング」(NPO法人エガリテ大手前実施)において、北九州市は7年連続で政令指定都市第1位に選ばれました。これは、自治体の子育て支援の取り組み状況についての環境評価を行っているもので、「出産環境」「児童保育」「小児医療」などが高評価となり、調査開始後13年間のうち12年間、全国の政令指定都市で第1位の評価を得ています。

- 👑 北九州市 1位
- 熊本市 2位
- 岡山市 3位
- 名古屋市 4位
- 大阪市 5位
- 相模原市 6位

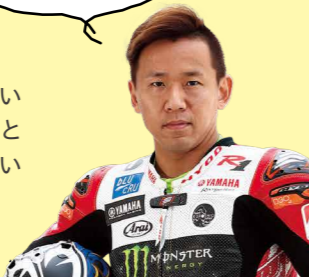
第13回「次世代育成環境ランキング」  
政令指定都市の上位6自治体

### INTERVIEW

都会過ぎず、田舎過ぎず、  
伸び伸びと子どもが育つ環境です。

北九州市出身で、現在も家族と一緒に市内に住んでいます。各地のレースに出るため出張も多いですが、他市と比べても都会過ぎず、田舎過ぎず、住みやすいですね。買い物は便利だし、食べ物もおいしい。うちは小さな子どもが3人いるので、幼稚園や小児科が多いことも魅力です。海が近くて、公園も多いし、自然の中で遊べる環境に恵まれていて、安心して子どもを育てられると感じています。

鈴鹿8時間  
耐久ロードレースで  
4連覇達成!



バイクレーサー  
中須賀 克行さん



鉄郎、  
このまちに暮らす  
人たちは幸せね

## 「住みたい田舎ベストランキング」 大きなまち、総合・シニア世代部門第1位!

「2018年版 住みたい田舎ベストランキング」(人口10万人以上の大きなまち)で、北九州市が総合・シニア世代の両部門で第1位となりました。「子育てしやすい環境」「多様な雇用」「医療・介護施設の充実」等、都市機能が充実している一方で、比較的物価が安く海や山などの自然にも溢れて、都市と田舎のバランスが取れた暮らしやすいまちです。

【総合部門】

- 👑 北九州市 1位
- 糸島市 2位
- 栃木市 3位
- 鳥取市 4位
- 松山市 5位

宝島社「田舎暮らしの本」2018年2月号

### INTERVIEW

暮らしてみると魅力がいっぱい!  
理想的なコンパクトシティです。

北九州市での  
生活を満喫中!



小倉北区在住  
竹本 修さん

私は大阪出身で、東京やニューヨークで長く仕事をしてきました。再婚した妻が小倉出身だった関係で、6年前に1ターンしました。写経座禅会や、テニスやゴルフなどの活動を通じて友人も増え、毎日とても活動的に過ごしています。北九州市は自然災害が少なく、医療環境が充実している点も安心です。足りないものは何もない、理想的なコンパクトシティだということをもっとたくさんの人に知ってほしいですね。



私も将来、  
住もうかしら

## 政令指定都市で 物価の安さ 第1位!!!

物価の全国平均を100とすると、最高は川崎市の105.3、次が東京都区部(105.1)。最も低いのは前橋市(96.1)で、奈良市(96.4)、佐賀市(96.5)、長野市(97.1)、北九州市(97.3)と続いています。北九州市は政令指定都市では最も物価が安く、都市別でも5位となっています。

### 政令指定都市別消費者物価地域差指数\*

(全国平均を100とする)

97.3	97.4	98.1	98.6	98.8	99.2	100.2	104.8	105.1	105.3
¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥	¥
北九州市	福岡市	浜松市	熊本市	岡山市	広島市	大阪市	横浜市	東京都区部	川崎市

※ 資料:総務省平成29年平均消費者物価地域差指数

### INTERVIEW

自然豊かで、買い物も便利。  
この先もずっと住み続けたいまちです。

車で少し行けば山あり川あり海あり。自然が大好きな私にはとても重要なことです。それでいて交通や買い物等の便もよく、医療環境や公園などの施設が充実していて、子育てにも最適。スーパーや道の駅では新鮮な野菜や魚などが安価で手に入り、住宅は大都会よりも低価格でより広い物件が望めます。市民の特徴としては、気さくで熱め?でしょうか。海外もいろいろ旅しましたが、結局自分の居場所はここだと思える、大好きなまちです。



人権の約束事  
運動マスコット  
キャラクター  
モモマルくんを  
描いた

漫画家・イラストレーター  
萩岩 睦美さん

# 「SDGs未来都市」北九州市

エス・ディー・ジーズ  
SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2030年までに全世界で取り組む共通目標として、2015年9月の国連サミットで採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標)に向けて、日本も積極的に取り組んでいます。

北九州市は「SDGs未来都市」として、SDGsの取り組みを通してシビックプライド(まちへの愛着)を醸成し、市民生活の質や都市ブランド力を高めていきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



17のゴール。地球の未来に希望を感じるわ



## 北九州市のSDGsの取り組みは国内外から高い評価を受けています



▲首相官邸での表彰式 写真提供:内閣広報室

### 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞(2017年12月26日)

280団体以上の応募の中から12団体が受賞(自治体は北九州市と他1自治体だけ)。



▲共同記者会見

### OECDが「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に本市を選定(2018年4月18日)

ドイツ・ボンなど6都市(2018年4月時点)が選定されました。アジア地域では本市が初。



▲「SDGs未来都市」に選定(2018年6月15日)

### 「SDGs未来都市」に選定(2018年6月15日)

北九州市は、国から「SDGs未来都市」の一つに選定され、中でも特に先導的な取り組みを行う「自治体SDGsモデル事業」(全国で10事業だけ)にも選定されました。

## 北九州市のSDGs戦略

北九州市は、持続可能なまちづくりのために、「環境」「社会」「経済」の3分野で、技術力・市民力を生かした取り組みを推進しています。

### 環境

#### 「世界のモデルとなる持続可能なまちを拓く」

- 他都市のモデルとなるエネルギーマネジメント・循環システムの構築
- コンパクトなまちの形成によるストック型社会の創造
- 技術と経験を生かした国際貢献の推進

### 社会

#### 「一人ひとりが行動し、みんなが輝く社会を拓く」

- ジェンダー等の取り組みによる誰もが活躍できる場の創出
- 市民参加型の活動による生活の質(QOL)の向上

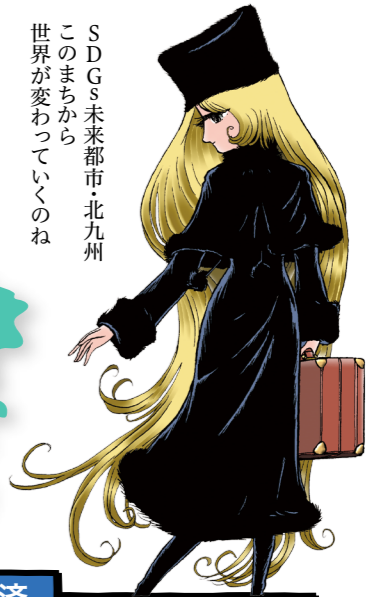
「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」

### 経済

#### 「人と環境の調和により、新たな産業を拓く」

- 先進のまちを目指した新たなビジネスの創出
- 新たな産業の核となるエネルギー産業の創出

SDGs未来都市・北九州  
このまちから  
世界が変わっていくのね



## 北九州市のSDGs達成に向けた取り組み例

### 社会

#### 市民を中心としたESD\*や市民活動の推進

<北九州ESD協議会の取り組み>  
「地域・NPO+大学」のコラボレーション



▲大学生による、子ども向けESD講義



▲イベント(交流会)



▲イベント(九州地区ESD会議)

※ESD: Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)

### 環境

#### 次世代エネルギーの拠点化

多様なエネルギー供給の総合ショールーム(響灘地区)



▲洋上風力発電



▲メガソーラー



### 経済

#### 国際技術協力&海外水ビジネス

- 専門家の派遣や、研修生の受け入れを通じた、国際貢献、人材育成や人的ネットワークの構築
- 「北九州海外水ビジネス推進協議会」と連携し、ベトナム、カンボジア、インドネシアを中心に海外水ビジネスを展開



# 北九州市の 就労サポート

北九州市では、定住・移住する人への  
就職支援も万全です。  
若年者から中高年齢者、  
女性や起業を目指す人など、  
北九州市での就職を応援します。



## 女性の「はたらく」をワンストップでサポート！ 国、県、市の連携施設「ウーマンワークカフェ北九州」

全国初!!

平成28年5月にオープンした「ウーマンワークカフェ北九州」。国・県・市の支援機関が1カ所に集まる全国初の施設で、女性の就業支援や創業サポート、保育サービスに関する情報の提供など、さまざまなサービスをワンストップで提供しています。

### 女性の就職支援

国の「マザーズハローワーク北九州」では、全国のハローワーク求人票が検索でき、子育てと両立できる仕事の紹介など相談者の状況に合わせた就職支援や、各種セミナーの開催をしています。また、子育て中の女性を対象にきめ細やかな支援を行う「福岡県子育て女性就職支援センター」や市の「保育士・保育所支援センター」「ひとり親家庭向け就業支援」などさまざまな事業を行っています。

### 創業相談

これから創業を検討している女性や、創業して間もない女性を対象に、創業・経営に関する相談に応じるほか、セミナーの開催など、創業全般に関する支援を行います。



▲相談しやすい環境が整っています。

### 子育てとの両立支援

保育サービスコンシェルジュが、就職と併せて保育所入所などの保育サービスに関する相談に応じます。



▲就職や創業などに関する各種セミナーを開催



## ウーマンワークカフェ北九州

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル2階  
●開館時間:10~18時 ●休館日:日、祝日、年末年始  
●お問い合わせ先:093-551-0092

## U・Iターン応援プロジェクト

北九州市へのU・Iターン就職希望者と市内企業をつなぐサービスです。インターネットを活用した求人情報等の提供や、市内・東京2カ所の常設窓口での相談など、遠方の求職者や市内近辺に住む家族も無料で利用することができます。

幅広い世代に向けた就職支援のほか、特に20代・30代で初めて転職する層を「第二新卒」として、独自の取り組みを行っています。第二新卒のU・Iターン希望者・転職経験者・市内企業が情報交換をする交流会や、オンライン会社説明会なども開催しています。

### 北九州市U・Iターン応援オフィス

北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル2階  
●開館時間:10~18時 ●休館日:日、祝日、年末年始 ●お問い合わせ先:0120-0823-46



さあ、向かおう！  
北九州市へ



▲北九州市U・Iターン応援オフィス

## 学生たちの未来を見据えたキャリア教育

北九州市では、主体的に進路や職業を選択する力を育む「キャリア教育」に力を入れています。その取り組みとして、仕事や学びについて考え、地元の魅力を知るイベント「北九州ゆめみらいワーク」を開催しています。主に小・中学生・高校生を対象に、企業・大学・短期大学・専門学校の人々と交流する機会を設け、社会との関わり方や将来の働き方について、楽しみながら考えていきます。

### 北九州ゆめみらいワーク

大盛況だった平成29年に引き続き、平成30年も8月に開催しました。

参加企業 約120団体 来場者数 延べ6,600人  
学校等 来場対象 小・中学生・高校生・大学生 保護者・教員など



▲今年は約120の企業や学校が参加

## シニア・ハローワーク

シニア・ハローワーク(北九州市高齢者就業支援センター)では、高齢者の多様な職業ニーズに応じた就業機会の提供を行っています。専門のカウンセラーによる「適性診断」「キャリアカウンセリング」、スキルアップのための「能力開発講座」を実施するなど、「再就職支援」を総合的にサポートしています。

また、全国で初めて設置された、おおむね50歳以上の求職者を重点的に支援する国の「シニア・ハローワーク戸畑」があり、市と国が緊密に連携し、多様なニーズに応じた就労支援を行っています。

### シニア・ハローワーク (北九州市高齢者就業支援センター)

北九州市戸畑区汐井町1-6  
ウェルとばた8階  
●開館時間:9~17時  
(受け付けは16時30分まで)  
●休館日:土、日、祝日、年末年始  
●お問い合わせ先:093-882-5400

## 創業支援の充実

「日本一起業家に優しいまち」を目指して、産学金官が一体となった創業支援を行っています。起業家と支援者がフラットな関係で気軽につながる「北九州スタートアップネットワークの会」や、創業相談窓口とコワーキングスペースが設置されたインキュベーション施設「COMPASS小倉」など、起業を目指す人のための環境が充実しています。



北九州市小倉北区浅野三丁目8-1 AIMビル6階  
●開館時間:9~22時 ●休館日:日、祝日、年末年始  
●お問い合わせ先:093-513-5300



▲セミナー・交流会・ビジネスマッチングを開催



▲気軽に立ち寄れる創業相談窓口

# 北九州市の子育て・教育

北九州市では、子育て日本一を実感できるまちを目指し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めています。

到津の森公園(小倉北区)

## 小児救急医療の充実で安心できる子育てを!

北九州市には、24時間365日の小児救急を実施している小児救急センター(八幡東区・市立八幡病院内)、国立病院機構小倉医療センター(小倉南区)をはじめ、夜間・休日の小児救急体制が充実しています。また、24時間体制で救急医療の問い合わせに応じるテレフォンセンターも設置しています。



## 子ども医療費支給制度の充実

北九州市では、健康保険に加入している中学校3年生(満15歳に達する以後の最初の3月31日)までの子どもを対象に、保険診療による医療費の自己負担額を助成しています。

通院は小学校6年生まで、  
入院は中学校3年生までを助成

医療費のうち、保険診療による自己負担額を一部助成しています。通院は小学校6年生まで助成を受けられます(調剤は無料)。入院については、中学校3年生まで無料です。

### 助成を受ける方法

子どもが県内の医療機関にかかるときは、「健康保険証」と「子ども医療証」を医療機関の窓口に表示することにより、助成を受けられます。子ども医療証の交付手続きは、各区役所、一部出張所で行います。

## 「ペリネイタルビジット」事業 【お産前後の子育て相談】のすすめ

政令市初!!

僕たちも安心して子育てできるね



北九州市では、産婦人科医、小児科医と連携して産前産後の子育てを応援しています。安心して楽しく子育てをしてもらうために、妊産婦等が小児科医を訪問して無料で保健指導を受けられる「ペリネイタルビジット」をすすめています。市の事業としては、政令市初の取り組みです。

### 産婦人科医が小児科医を紹介

産婦人科医に申し出ると、希望する小児科医の紹介が受けられます。対象は初産の妊産婦とご家族、相談期間は妊娠28週から産後2カ月まで。育児不安が強い場合は、経産婦も対象になります。

### どんなことでも相談OK

赤ちゃんの病気や日頃のケア、子育てのことなど、小児科医がいろいろな相談に応えます。早くから小児科医と顔なじみになることで、安心して育児に臨めます。

## 子育て支援施設の充実

子育て中の保護者の負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点として、JR小倉駅近くに「子育てふれあい交流プラザ」、JR黒崎駅近くに「子どもの館」を設置。親子で気軽に訪れ情報交換や育児相談ができる場所として、市内7区の区役所などに、「親子ふれあいルーム」を開設しています。また、子育て情報誌の発行や、情報サイト「子育てマップ北九州」も開設しています。

子育てマップ北九州  
<http://maps.kosodate-fureai.jp>

検索

### 北九州市立子育てふれあい交流プラザ

親子で楽しく遊んだり、学んだり、体験したり。子育て、親育ちのヒントがいっぱいの屋内施設。主に就学前の子どもとその家族を対象としています。



### 北九州市立子どもの館

子どもから大人まで楽しめる、遊び・体験・子育て・交流の施設です。250人収容可能な「子どもホール」、誕生会や会議に利用できる「パーティールーム」などの貸館もあります。



### 赤ちゃんの駅

授乳やオムツ替えなどで立ち寄れる施設を「赤ちゃんの駅」として登録しています。各施設は、「子育てマップ北九州」に掲載しています。



## 子どもひまわり学習塾

児童生徒の学習習慣と基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための支援として、放課後などを利用し、小・中学校の教室で自主学習を行う「子どもひまわり学習塾」を実施しています。大学生や教員OB、地域の人などが自主的な学びをサポートすることで、児童生徒に分かることの喜び、学習することの楽しさを知る機会を提供しています。

### TOPIC

## 北九州市の子育て応援大使に メルちゃんが就任

愛育ドールと呼ばれる子ども向けの人形・メルちゃんが、平成30年4月、「北九州市子育て応援大使」に就任しました。子どもたちや子育て世代に認知度の高いメルちゃんを通じて、北九州市の子育て施策をPRします。

メルちゃんとのコラボイベントも開催します!



北九州市子育て応援大使  
メルちゃん

# 北九州市の安全と安心

北九州市では、安全な環境で安心して暮らせるまちを目指して、認知症支援、医療、防犯、防災などさまざまな取り組みを行っています。



## 安全・安心に関する市政評価

### 「防犯、暴力追放運動の推進」第1位

北九州市では、平成16年に初めて地域の自主防犯組織である生活安全パトロール隊が結成され、現在では全ての小学校区で、地域のパトロール活動や通学路の見守りが行われる等、市民などによる安全・安心の取り組みが活発に行われています。その結果、刑法犯認知件数は、平成14年の約4万件をピークに減少し、平成29年には約5分の1にまで減少しています。また、平成29年の市政評価アンケート結果では、「防犯、暴力追放運動の推進」が3年連続で1位になるなど、市民から高く評価されています。

#### 北九州市安全・安心条例

北九州市では、平成26年7月に「北九州市安全・安心条例」が施行されました。この条例では、市民や北九州市を訪れる人が「安全・安心を実感できるまちを実現し、それを次世代に継承すること」を目的に、市民、地域団体、事業者、学校と市が、一体となって安全・安心なまちづくりに取り組んでいくことを定めています。

#### 1万人の防犯パトロール大作戦【生活安全パトロール隊】

生活安全パトロール隊をはじめ地域の皆さんの長年の地道な活動を、より多くの市民に知ってもらい、活動参加のきっかけとしてもらうとともに、本市の安全・安心の取り組みを市内外に発信するため、安全・安心条例を施行した平成26年から「1万人の防犯パトロール大作戦」を実施しています。



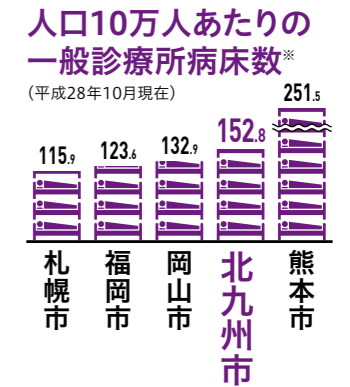
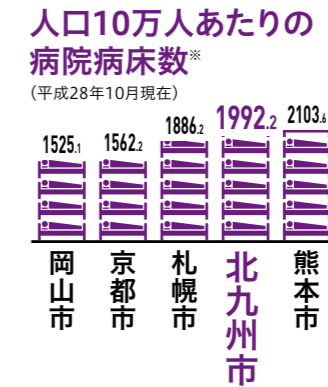
## 充実の医療機関と救急医療

### 救急医療体制の整備

患者の状態に応じた三つの段階からなる救急医療体制を整備しており、一刻を争う救急車での搬送は、医療機関と連携を図り、受け入れ体制の整備に努めています。救急車の119番受信から病院到着までの時間は、全国の大都市で1番の早さとなっています。

### 充実の医療機関・病床数

北九州市の人口10万人あたりの医療機関数は、政令指定都市の中で病院が第3位、診療所が第4位です。病床数は、病院・診療所ともに第2位となっており、医療機関・病床数ともに十分に確保されています。



※資料:保健福祉レポート2017(北九州市)

## 北九州市認知症支援・介護予防センター

いくつになってもこのまちで、その人らしく生き生きと暮らすことができるよう、「認知症」「介護予防」の切り口から、市民や関係団体と共に、地域づくりを進める拠点として「北九州市認知症支援・介護予防センター」を開設しました。本センターでは、介護等の専門職団体などと連携協定を結び、協力しながら運営しています。

### センターの主な取り組み

#### 人材育成

「認知症サポーター」や健康づくり推進員の養成講座、北九州市が独自に開発した「きたきゅう体操・ひまわり太極拳」の普及員講座、身近にある公園での健康づくりの普及員講座など。

#### 地域活動の支援

運動・栄養・口腔分野の専門職を派遣し、効果的な介護予防方法を紹介。地域での高齢者の見守りネットワークづくりや行方不明者の捜索模擬訓練の実施支援。

#### 情報の収集と発信

認知症や介護予防に関する最新情報、地域の取り組み紹介など。



▲定期的に講座を開催し、7万人以上の認知症サポーターを養成しています。

## 市民みんなでつくる「災害に強いまち」

北九州市では、災害から命を守りぬくために、「自助」意識の醸成や、「共助」の風土づくりを目指して、「みんなde Bousaiまちづくり推進事業」に取り組んでいます。この事業では、市民が主体となり、「地区Bousai会議」や訓練を通じて、自らが住む地域の特性をふまえた地区防災計画を策定するとともに、市内の大学生を対象に新たな地域防災の担い手となる人材の育成を進めています。



また、災害時に市民が命を守る適切な判断・行動がとれるように、さまざまな災害ごとにその特徴や避難の心得、地域ごとの備えるべき災害を確認するためのハザードマップなどを掲載した「防災ガイドブック」を全戸に配布しています。

たくさんサポーターがあつて心強いわ





# 北九州市の産業力



北九州市には、ものづくりを支える高度な技術力が集積しています。専門性と熱意のある人材、豊富な食材などさまざまな強みを生かし、北九州市だからできる新しい産業の創出、数々のユニークな取り組みを行っています。

## 「リノベーションまちづくり」で地域活性化！

北九州市では、平成23年度から小倉駅に近い商店街を中心に「リノベーションまちづくり」を進めてきました。空きビルや空き家などの遊休不動産をリノベーションの手法を用いて再生し、産業振興、雇用創出、コミュニティ再生、エリア価値の向上などに取り組んでいます。

まちづくり事業者や不動産オーナーと連携して事業を展開し、市内の各地区に新しいコンセプトのシェアオフィス、集合型ショップ、カフェ、レストランなど、人が集う活気ある空間を生み出しています。

### 魚町サンロード商店街

リノベーションで新たなにぎわいを創出したことが評価され、平成29年、経済産業省が選定する「はばたく商店街30選」に「魚町サンロード商店街協同組合」が選ばれました。



### 自由ヶ丘地下歩道

九州女子大学の学生有志が、公共空間の「道路」をリノベーション。古い劣化の進んだ地下歩道の壁面にアートを施し、明るく楽しい歩行空間に蘇らせました。



### TOPIC

#### リノベーションの最高賞を受賞！

北九州市のリノベーションまちづくりを盛り上げてきた建築士・田村 晟一朗さん(株式会社タムタムデザイン)が、「リノベーション・オブ・ザ・イヤー2016」(一般社団法人リノベーション住宅推進協議会主催)の総合グランプリに輝きました。

情熱のあるまちづくり。俺はこれからも見守っているぞ！



## 「国家戦略特区(地方創生特区)」でさらに成長！！ 新しい産業と雇用を創出する北九州市の新たな取り組み

北九州市は平成28年1月に特区指定を受け、地方創生の成功モデル都市に向けたさまざまな取り組みを進めています。国家戦略特区とは、特定の地域を選定して規制改革などを行い、経済の活性化を図る制度です。北九州市では、介護ロボットの開発や道路空間を活用したイベントの開催、シニア・ハローワークの設置、豊かな自然環境を活かした特区民泊、若松産のワインづくりなどが行われています。

### 介護ロボット等の実証実装

「高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をテーマに、介護ロボットの開発と活用に取り組んでいます。介護職員の作業負担を軽減するために、市内の特別養護老人ホームで、どんなロボットが役立つか調べる実証も行われました。



▲移乗アシスト装置(安川電機)

### 公道を活用したにぎわいの創出

特区指定により、道路空間を活用したオープンカフェやマルシェ等を継続的に実施できるようになりました。門司港レトロ地区、魚町サンロード、小倉井筒屋クロスロード、黒崎駅ペDESTリアンデッキ、黒崎カムズ通り、八幡けやきテラス等で、地域団体による公道を活用したにぎわい創出の取り組みが行われています。



クロスロードマルシェ▶

## 陸海空のインフラで産業を支える

本州と九州の接点に位置する北九州市は、交通の要衝でもあり、陸・海・空の交通が充実しています。市内は公共交通機関が整備され、北九州空港、新幹線、フェリーの利用で遠方へのアクセスも便利。平成28年には、東九州自動車道の北九州市から宮崎市までが開通し、新たな高速道路網が形成されています。



(資料:総務省 平成25年住宅・土地統計調査)

### TOPIC

#### 海のインフラを利用したクルーズ船誘致

北九州市では、西海岸(門司区)、ひびきコンテナターミナル(若松区)の二港にクルーズ船寄港の誘致を行っています。海外から来る乗客や乗組員へのおもてなしに力を入れ、買い物や観光による経済効果が期待されています。



# 北九州市の環境力

北九州市は「世界の環境首都」を目指し、資源循環やエネルギー、水インフラなどの分野で先駆的な事業を行っています。水環境の改善を担ってきた下水道は100周年を迎え、海外にも優れた技術を提供しています。



響灘風力発電施設(若松区)

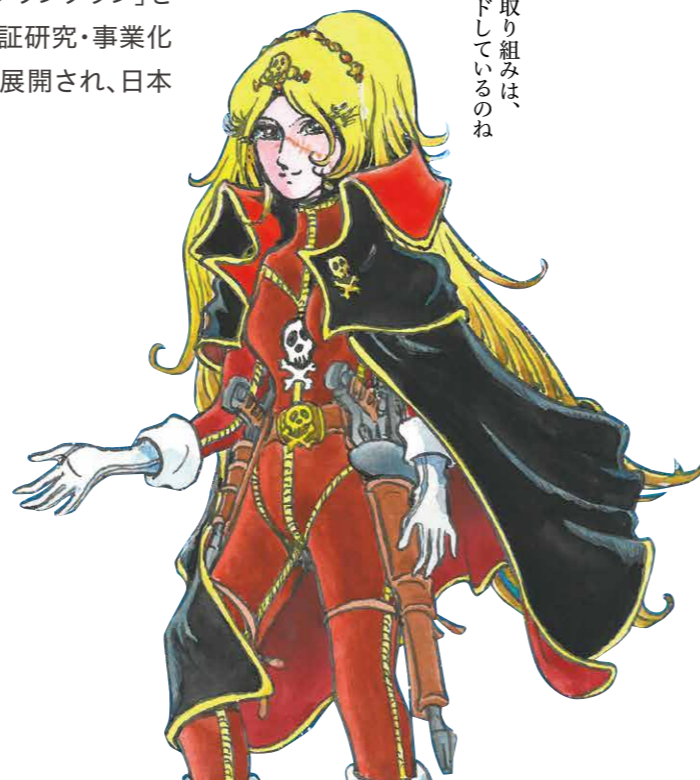
## 資源を循環し、廃棄物ゼロを目指す北九州エコタウン事業の推進

エコタウン事業とは、「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること(ゼロ・エミッション)」を目指し、循環型社会の構築を図る事業です。北九州市では、環境・リサイクル産業の振興を柱とする「北九州エコタウンプラン」を策定し、平成9年に国から承認を受けました。基礎研究から技術開発・実証研究・事業化に至るまで総合的に推進しています。平成30年8月現在26社27事業が展開され、日本最大級の規模を誇っています。

### 世界からも注目される北九州エコタウン事業

北九州エコタウンは、循環型社会づくりのモデルとして、世界から注目されています。

廃棄物処理の問題に直面しているアジア地域などからの関心も高く、国内外から要人を含め、年間約10万人が視察や見学に訪れており、累計で160万人を超えました。



北九州市の取り組みは、世界をリードしているのね

## 環境力を活かした国際展開

北九州市は公害克服の経験やノウハウ、アジア諸都市とのネットワークを活かし、国際協力を推進してきました。その技術力は世界的にも高く評価され、環境や上下水道等に関する国際ビジネスへと発展しています。

### 国際技術協力

インドネシア第2の都市スラバヤ市で、北九州市発の生ごみコンポスト化協力事業を実施。廃棄物の減量と資源化に成功し、上下水道、都市開発などの幅広い分野で協力関係を構築しています。



### プノンペンの奇跡

カンボジアの首都プノンペンでは、北九州市の技術支援により、飲用可能な水道水の24時間供給を実現。漏水の早期発見や盗水の削減にも成功し、「プノンペンの奇跡」と呼ばれています。



### TOPIC

#### 北九州市の水事情 きれいで安全な水を、より安く!

●水道料金の安さは県内1位  
大都市の中では第3位!

北九州市の水道料金は、全国の大都市と比較すると大阪市、浜松市に次いで第3位。湯水にも強く、水道水を安定供給しています。(平成30年3月末時点)

●工業用水料金は  
政令市の中で最安値!

機械の冷却や製品の洗浄などに使われる工業用水を安い料金体系で提供し、北九州市のものづくり企業を支援しています。

●下水道普及率は99.8%  
大都市の中で第4位!

北九州市の下水道は、平成28年度末現在で普及率が99.8%。全国の大都市と比較すると、大阪市、東京都、横浜市に次いで第4位です。

## 北九州次世代エネルギーパーク

### 地球と技術のチカラを感じる施設が響灘地区に集積!

経済産業省から認定を受け、平成21年に若松区響灘地区で次世代エネルギーパークが始動しました。多種多様なエネルギーが集積しており、太陽光・風力等の自然エネルギー、バイオマス等を活用した再生可能エネルギーなどの施設見学のほか、エコタウンセンター別館内にある展示コーナーではエネルギーについて学ぶことができます。

### TOPIC

#### 洋上風力発電

洋上風力発電は、陸上と比べて設置できる領域が広く、年間を通して比較的安定した風を得られることなどから、欧州を中心に導入が進んでいます。日本では北九州市沖と千葉県銚子沖の2カ所に国内初の洋上風車が設置され、実証実験が行われてきました。

本市では平成29年2月、響灘の港湾区域における洋上風力発電設置事業者を決定し、平成30年1月には協定を締結するなど、洋上ウインドファームの実現に向け、着実に事業を推進しています。



#### 水素社会実現に向けた取り組み

北九州市は、究極のクリーンエネルギーとして注目されている水素エネルギーを有効活用する水素社会の実現を目指し、燃料電池自動車の公用車への率先導入や購入助成による普及拡大、「スマート水素ステーション」によりCO<sub>2</sub>を全く排出しない水素製造実証など先導的な取り組みを推進しています。



▲スマート水素ステーション

北九州市で  
僕たちに会えるよ!

アクティブに  
いろんなことが  
楽しめる街だね!

# 豊かな文化と北九州市の誇り 文化 & スポーツに触れる

北九州市は、誰もが文化やスポーツを楽しむことができるまち。漫画家・松本零士さんが名誉館長を務める北九州市漫画ミュージアムをはじめ、文学、演劇、音楽イベントなどで、全国に質の高い文化を発信しています。そして、プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」が市民の心を熱くしています。



## 北九州市漫画ミュージアム

小倉北区浅野二丁目14-5 あるあるCity5・6階

平成24年、数々の著名な漫画家を輩出した北九州市に開館。「見る・読む・描く」をテーマに、漫画文化を広く紹介しています。地元ゆかりの漫画家の作品展示のほか、漫画の歴史や仕組みについて解説するコーナーなどもあります。約5万冊の蔵書を自由に読める「閲覧(よむ)コーナー」では、専門スタッフがおすすめの作品を紹介。また、定期的に漫画を描くワークショップも開催し、年間を通して漫画やアニメに関するさまざまな作品の企画展も行っています。



## 北九州市立美術館

戸畑区西鞘ヶ谷町21-1

昭和49年、西日本における公立美術館の先駆けとして開館。豊富な収蔵品を常時展示すると同時に、企画展を開催しています。個性的な形の建物は、建築家・磯崎新氏が設計しました。平成27年から長期休館して大規模改修工事を行い、平成29年11月にリニューアルオープンしました。



## 北九州市立文学館

小倉北区内4-1

北九州市にゆかりのある文学者を紹介するとともに、貴重な文芸資料の展示のほか、パネルや映像を通じて北九州市が持つ豊かな文芸土壤に触れることができます。



## 北九州市立松本清張記念館

小倉北区内2-3

松本清張の七回忌にあたる平成10年8月4日に開館。社会派推理小説をはじめ、歴史小説、古代史、現代史など、多岐にわたって創作活動を続けた作家・松本清張の業績を称え、その生涯や作品だけでなく、東京都杉並区の自宅の書庫、応接間、書斎も再現展示しています。平成30年には20周年を迎え、特別企画展や講演会などの記念イベントを行いました。

## 森鷗外旧居

小倉北区鍛冶町一丁目7-2

文豪・森鷗外が、旧陸軍第12師団軍医部長として小倉に着任したときに住んだ家です。明治32年6月に赴任し、1年半をこの鍛冶町の家で過ごしました。軍務のかたわらこの家で「我をして九州の富人たらしめば」「鷗外漁史とは誰ぞ」などを発表し、翻訳も手掛けました。東京に帰ってから書いた小説「鷄」は、この家が舞台となっています。鷗外が去った後はかなり改造されていましたが、昭和56年に市が買収して復元しました。



### 北九州市出身・ゆかりの「作家・漫画家」一例

- |            |                    |                          |              |
|------------|--------------------|--------------------------|--------------|
| 作家<br>森鷗外  | 俳人<br>杉田久女         | イラストレーター・作家<br>リリー・フランキー | 漫画家<br>北条司   |
| 作家<br>林芙美子 | 俳人<br>橋本多佳子        | 漫画家<br>関谷ひさし             | 漫画家<br>陸奥A子  |
| 作家<br>火野葦平 | 詩人<br>宗左近          | 漫画家<br>松本零士              | 漫画家<br>文月今日子 |
| 作家<br>若下俊作 | 詩人・童話作家<br>みずかみかずよ | 漫画家<br>キクチマサフミ           | 漫画家<br>萩若陸美  |
| 作家<br>劉寒吉  | 作家<br>松本清張         | 漫画家・イラストレーター<br>わたせせいぞう  | 漫画家<br>冬木りか  |
|            |                    |                          | 他多数          |



## 北九州フィルム・コミッション

劇場版「ビルド・アップ」製作委員会 ©石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

北九州市は、平成元年から映画やドラマなどの撮影誘致と支援に取り組み、平成12年には全国に先駆けて、北九州フィルム・コミッションを設立。雄大な自然、近代的な都市景観、レトロな街並みなど多彩なロケーションを生かし、撮影を全面的に支援しています。市民エキストラの登録数は約9,000人。数多くのロケが市内各地で行われ、「映画の街」として国内外の映画・ドラマ製作関係者から注目を集めています。街ぐるみの撮影協力が評価され、「東京ドラマアウォード2014・特別賞」「第23回福岡県文化賞」「平成28年度ふるさとづくり大賞」を受賞しました。

## 北九州マラソン

平成26年に市制50周年記念事業のフィナーレイベントとして初開催されました。第5回目となる北九州マラソン2018では、1万人以上のランナー、5千人を超えるボランティア、沿道からは約27万人の声援が送られるなど、北九州市の魅力が全国に発信しました。



## 芸術文化の催し

北九州芸術劇場を核とした舞台芸術の創作や公演、室内楽専用ホールである響ホールを拠点に開催される北九州国際音楽祭、アルモニーサンク北九州ソレイユホールでの合唱事業など、市内外から注目を集める催しがまちに根付いています。



## ギラヴァンツ北九州

平成22年にJリーグに参入した北九州市のシボルチーム「ギラヴァンツ北九州」。プロスポーツチームの存在は地域に活力を生み、その活躍は市民の誇りとなり、子どもたちに夢と感動を与えます。平成29年2月にオープンしたスタジアムを拠点に、さらなる飛躍を目指しています。



## ミクニワールドスタジアム北九州

小倉北区浅野三丁目9-33

平成29年2月、小倉駅新幹線口から徒歩7分の場所にオープンした「ギラヴァンツ北九州」のホームスタジアム。Jリーグやラグビートップリーグの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放やイベントの開催など、市民に夢と感動を提供しています。



思い出に残る場所ばかりね

### ① 火野葦平資料館

若松に生まれ、故郷と河童を愛した作家・火野葦平。資料館は若松市民会館内にあり、復元された書斎や写真パネル、日記やノートなどが展示されています。



北九州市の見どころをご案内します！

### ② 若松バンド

若松南海岸通りの「若松バンド」は、大正期の建物を中心とした近代港湾都市固有の帯状の都市空間です。石炭で栄えた歴史を伝え、景観的にも優れた地域です。



### ③ 安川電機ロボット村

産業用ロボットの最先端をいく安川電機が、平日の日中、黒崎にある八幡西事業所の一部を一般に公開しています。その名も「ロボット村」。100種類以上の植物や樹木が茂る「YASKAWAの森」や体感型施設の「安川電機みらい館」、技術の宝庫である「ロボット工場」など、ものづくりの“いま”を知ることができます。「みらい館」と「ロボット工場」は、事前予約制です。



### ④ 長崎街道木屋瀬宿記念館

木屋瀬は、豊かな自然に抱かれて、街道と水運で栄えた宿場町。かつて舟着き場の目印だった大銀杏は、今は長崎街道木屋瀬宿記念館の目印となっています。歴史への旅体験をテーマとした「みちの郷土史料館」と芝居小屋風の多目的ホール「こやのせ座」からなる長崎街道木屋瀬宿記念館は、宿場町の御茶屋（本陣）・町茶屋（脇本陣）跡地に建っています。旅人の気分を味わいながら、宿場町の風情を感じることができます。



## 北九州市は見どころいっぱい!! 観光 & おでかけMAP

大都市なのに、自然もいっぱい。それが、北九州市の魅力です。まちの根幹である“ものづくり”を感じる施設や、文化に親しむスポットも盛りだくさん。新発見も、再発見もありそうなワクワクの冒険へ、出かけましょう。



### ⑤ 河内藤園

世界各地から観光客が訪れる八幡東区の山間部にある広大な私営藤園。4月下旬～5月中旬には22種類の藤の花が咲き乱れ、11月下旬頃には約700本の紅葉が見ごろを迎えます。

### ⑥ 皿倉山

ケーブルカーとスロープカーを乗り継ぎ、山頂に行けば、北九州のまちを一望する大パノラマが広がります。「新日本三大夜景」に選ばれた美しい夜景スポットとしても有名です。



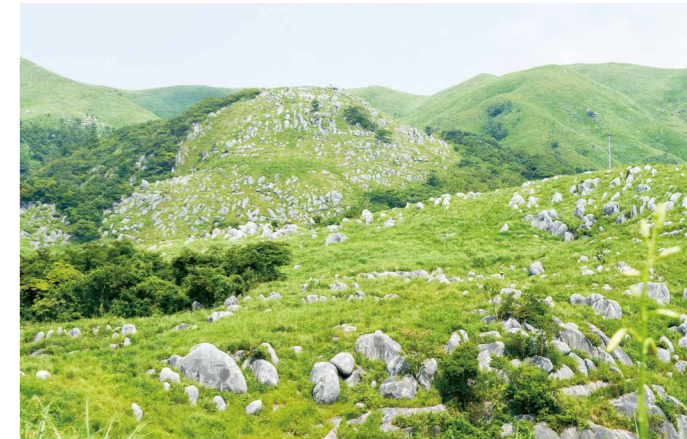
### ⑨ 旧松本家住宅

明治専門学校（現九州工業大学）の創設者、松本健次郎が建てた明治後期の建造物で、徹底したアール・ヌーボー様式が特徴。設計は、東京駅を設計した辰野金吾の主催する辰野・片岡事務所。国の重要文化財です。



### ⑩ 曾根干潟

小倉南区の東側に広がる市内最大の干潟（面積517ha）。多種多様な生物が息返し、冬には大陸から渡り鳥が飛来してきます。古くから漁業が営まれており、人々の生活の場としても重要な干潟です。



### ⑪ 平尾台

日本有数のカルスト台地で、国立公園に指定されています。羊の群れのように見えるのは、石灰岩。地下には国の天然記念物である千仏鍾乳洞などいくつかの鍾乳洞があります。キャンプ場や民泊施設もあり、季節ごとに変化する自然を感じることができます。

これほど多くの魅力があるとは、驚きだ...



### ⑦ 門司港レトロ

明治後期から昭和初期にかけて、横浜・神戸と並ぶ国際貿易港として栄えた門司港。当時の面影をいまに残す美しいまちには、カフェや雑貨店が並びます。夜景の名所でもあり、展望室もあります。



### ⑧ 小倉城

慶長7年（1602年）に細川忠興公が築城した名城。昭和34年に市民からの熱い要望により再建されました。夜はライトアップされた白壁や、堀の水面に映る天守閣などを撮影する人々にぎわう人気スポットです。

### TOPIC



### 北九州工場夜景

全国屈指の工場地帯である北九州市では、陽が沈むと幻想的な灯りに照らされる工場夜景が見られます。小倉・戸畑地区沿岸の広大な製鐵所とその関連工場や、洞海湾沿岸の化学工場をはじめ多種多様なプラント群など、大規模な工場群が深い闇の中で美しく重厚な景観をつくり出します。海上から鑑賞できる「工場夜景観賞クルーズ」は、大変人気があります。



うまいものばかり…  
俺は全部食べ尽くすぞ

### 北九州のご当地グルメ



#### 小倉発祥焼うどん

終戦直後、焼きそば用のそば玉がなかったため、代用としてうどんの乾麺を使ったのがはじまりだとか。いまや小倉名物として定着しています。



#### 門司港発祥焼きカレー

ご飯の上にカレー、チーズ、卵をのせ、グラタン風にオープンで焼いたもの。店によってトッピングも多彩です。チーズの香ばしさが美味。



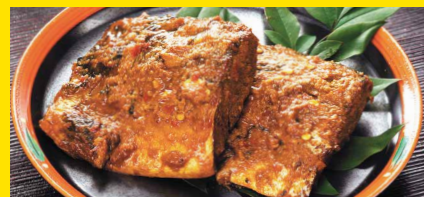
#### 戸畑チャンポン

戸畑が日本一の遠洋漁業基地だった70～80年前に誕生。長崎とはひと味違うコシの強い蒸した細麺が特徴です。



#### 八幡ぎょうざ

八幡製鐵所で働く製鉄マンに愛された、安くてスタミナ満点の一品。店によって味わいもさまざま。食べ比べも楽しめます。



#### ぬか炊き

サバやイワシなどの青魚をしょうゆやみりんなどで煮込み、ぬかみそや山椒などを入れて炊いた郷土料理。ご飯にも、お酒にもぴったりです。

## 北九州市は“うまいもん”だらけ 食の宝庫 de 美味三昧

北九州市は、食材の宝庫。まちを囲む海と山、そして生産者の愛情に育まれ、生まれた名産の数々は、郷土の誇りというにふさわしい逸品ぞろいです。



#### 若松潮風キャベツ

玄界灘に面した畑で、潮風を浴びながら育ったキャベツは、ミネラルが豊富で甘みたっぷり。



#### 合馬たけのこ

日本の一流料亭に出荷されるその味は、まさに日本一。旬の新鮮なタケノコは、生食も可能です。合馬では、タケノコ掘りもできます。



#### 若松水切りトマト

与える水を極限にまで減らして育てたトマト。フルーツ並みの糖度と、程よい酸味を備えた逸品の野菜です。



#### 豊前海一粒かき

豊前海で養殖されるカキは、初冬になると身入りのよい大粒に成長します。産地直売や宅配便での販売のほか、12～3月にはカキ小屋で食べることができます。



#### 小倉牛

霜降りの鮮やかさや色、艶など、厳しい肉質検査を通過してはじめて「小倉牛」の称号が与えられます。うま味あふれる肉汁と舌の上でとろけるような食感が、小倉牛の真骨頂。

#### あかもく

あかもくの特長は、今、注目を浴びているフコイダンを多く含んだ粘り気。モチモチとした食感で、臭みもなくさっぱりしているため、そのまま三杯酢などで食べるのはもちろん、どんな料理に入れても相性が良いと評判です。



## 北九州市の歴史は深い！ 伝統と技術 de 世界遺産

北九州市には、地域と共に歩んできた古い歴史を持つ文化財が多数あり、国内のみならず世界でもその価値が認められています。貴重な建築物や伝統的な祭りなど、市内各地に魅力があふれています。

### 世界文化遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

#### 明治日本の産業革命遺産

わが国は、幕末から明治にかけて、西洋技術の導入と日本の伝統技術との融合により、急速な産業化を成し遂げました。その歴史の歩みを証言する産業遺産群が世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」です。8県11市に広がる23資産からなる遺産群で、北九州市・中間市の官営八幡製鐵所関連施設の4施設が構成資産として、登録されています。



#### 官営八幡製鐵所 旧鍛冶工場

製鐵所建設に必要な鍛造品の製造を行う目的で、ドイツのゲーテホフメックスヒュッテ (GHH) 社の設計と鋼材を用いて建設された鉄骨建造物。製鐵所の拡張工事により増築され、その後、大正6年に現在地へ移築されて製品試験所になりました。



#### 官営八幡製鐵所 修繕工場

製鐵所で使用する機械の修繕、部材の製作加工などを行う目的で、旧鍛冶工場と同様、GHH 社の設計と鋼材を用いて建設された鉄骨建造物。その後、鋼材生産量の増大に伴って3回増築されました。創業から現在まで110年以上の間、修繕工場として稼働し続けています。



#### 遠賀川水源地ポンプ室

遠賀川の河口から約10キロの場所に建設された八幡製鐵所の取水・送水施設。八幡製鐵所第一期拡張工事に伴う工場での水不足を補うため、操業を始めました。明治建築の典型的な煉瓦建造物であり、動力を蒸気から電気に変えて、現在も稼働しています。(中間市)

### ユネスコ無形文化遺産

#### 戸畑祇園大山笠

- 国指定重要無形民俗文化財
- 県指定有形民俗文化財

平成28年に「戸畑祇園大山笠行事」を含む全国33の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。昼は勇壮な幟山笠が、夜には美しい提灯山笠に衣替えをします。7月第4土曜日の夕方には、4地区から大山笠と小若山笠が一箇所に集結し、「ヨイトサ」のかけ声とともに、豪華で迫力ある競演を繰り広げます。平成26年には、日本夜景遺産にも認定されました。

#### 毎年7月の第4土曜日を挟む3日間

北九州市の伝統行事「戸畑祇園大山笠行事」は、210年を超える歴史を持ち、福岡県夏の三大祭りの一つとして親しまれています。



世界に誇れる  
素晴らしい文化財ばかりね!



# 北九州市の歴史

明治 4年  
平成30年

## 北九州市発足前

- 明治 4年【1871年】
  - 12月 豊津・中津・千束県を統合した小倉県を改廃し、福岡・小倉・三潁の県を置く
- 明治32年【1899年】
  - 4月 門司市制施行
- 明治33年【1900年】
  - 4月 小倉市制施行
- 明治34年【1901年】
  - 11月 官営八幡製鐵所作業開始式
- 大正 3年【1914年】
  - 4月 若松市制施行
- 大正 6年【1917年】
  - 3月 八幡市制施行
- 大正13年【1924年】
  - 9月 戸畑市制施行
- 昭和17年【1942年】
  - 7月 関門鉄道トンネル開通
- 昭和34年【1959年】
  - 6月 小倉市が米国のタコマ市と姉妹都市締結
  - 7月 門司市が米国のノーフォーク市と姉妹都市締結
- 昭和37年【1962年】
  - 9月 若戸大橋開通



建設中の官営八幡製鐵所東田溶鉱炉



開通当初の若戸大橋

- 昭和38年【1963年】
  - 2月10日 **北九州市発足**  
(門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5市が対等合併)
  - 3月11日 初市議会開会
  - 3月15日 市長選挙、初代市長に吉田法晴氏
  - 4月1日 政令指定都市となる



- 昭和39年【1964年】
  - 4月19日 世界初の5市対等合併調査のため国連調査団が来市
- 昭和40年【1965年】
  - 2月20日 北九州市長期総合基本計画決定
  - 9月1日 ばい煙規制法の全面適用を受ける
- 昭和42年【1967年】
  - 2月23日 市長選挙、2代(～6代)市長に谷伍平氏
- 昭和44年【1969年】
  - 4月15日 戸畑共同火力(株)と第1号の公害防止協定締結
- 昭和45年【1970年】
  - 4月1日 北九州市公害防止条例公布
- 昭和47年【1972年】
  - 4月10日 新市庁舎開庁
- 昭和48年【1973年】
  - 11月14日 関門橋開通
- 昭和49年【1974年】
  - 3月23日 北九州市基本構想策定
  - 4月1日 7区制発足
- 昭和52年【1977年】
  - 5月14日 西日本総合展示場開設
- 昭和53年【1978年】
  - 10月1日 救命救急センター開設
- 昭和54年【1979年】
  - 5月1日 中国の旅大市(現・大連市)と友好都市締結
- 昭和55年【1980年】
  - 11月 太刀浦コンテナターミナル全面供用開始



新市庁舎

- 昭和59年【1984年】
  - 2月16日 同和対策総合計画策定
- 昭和60年【1985年】
  - 1月9日 北九州市モノレール開業
  - 4月1日 都市景観条例施行
- 昭和61年【1986年】
  - 7月5日 アドベンチャープール開設
- 昭和62年【1987年】
  - 2月8日 市長選挙、7代(～11代)市長に末吉興一氏
  - 10月1日 民事暴力相談センター開設
- 昭和63年【1988年】
  - 4月1日 同和対策実施計画(63年度～66年度)策定
  - 7月29日 第1回わっしょい百万夏まつり開催(～31日)
  - 12月9日 北九州市基本構想・部門別計画[北九州市ルネッサンス構想]策定
  - 12月20日 韓国の仁川直轄市(現・仁川広域市)と姉妹都市締結
- 平成元年【1989年】
  - 3月26日 ひびき動物ワールド開園
  - 11月1日 文書館開設・北九州市情報公開制度発足
- 平成 2年【1990年】
  - 6月5日 国連環境計画「グローバル500」受賞
  - 10月6日 北九州国際会議場開設
- 平成 3年【1991年】
  - 5月7日 市立医療センター(旧小倉病院)開設
  - 7月22日 レムチャパン港(タイ)と姉妹港を締結
- 平成 4年【1992年】
  - 3月28日 第1回パラグライダーワールドカップ開催(～4月5日)
  - 4月1日 グリーンパーク開園
  - 6月1日 日明工場粗大ごみ資源化センター開設
  - 6月4日 地球サミットで国連地方自治体表彰受賞
- 平成 5年【1993年】
  - 4月27日 北九州市高齢化社会対策総合計画策定
  - 7月7日 かん・びん分別収集開始
  - 7月30日 響ホール開設
- 平成 7年【1995年】
  - 3月25日 門司港レトロランドオープン
  - 7月1日 女性センター「ムーブ」開設
- 平成 8年【1996年】
  - 2月21日 大連環境モデル地区整備計画がODAに採択
  - 4月26日 北九州市障害者施策推進基本計画策定
  - 8月31日 白島石油備蓄基地完成
- 平成 9年【1997年】
  - 7月10日 国のエコタウン事業承認地域に決定
  - 11月5日 ペットボトル分別収集開始
- 平成10年【1998年】
  - 4月1日 北九州都市モノレール延伸(JR小倉駅と結節)
  - 7月1日 一般ごみ指定袋制開始
  - 7月14日 全国最大規模のペットボトル再生処理工場操業開始
  - 8月4日 松本清張記念館開設
  - 9月29日 小倉城庭園開園
  - 10月4日 メディアドーム開設
- 平成11年【1999年】
  - 10月1日 総合保健福祉センター「アシスト21」開設
  - 11月11日 ピッツバーグ市(米国)と国際ビジネスパートナー都市提携調印
- 平成12年【2000年】
  - 3月23日 市役所庁舎がISO14001(環境管理の国際規格)の認証取得
  - 8月31日 アジア・太平洋環境大臣会議in北九州開催(～9月5日)
  - 9月27日 北九州フィルム・コミッション設立
- 平成13年【2001年】
  - 1月1日 北九州環境基本条例施行
  - 1月1日 長崎街道木屋瀬宿記念館を開設
  - 6月27日 北九州市エコタウンセンター開設

北九州市モノレール

北九州国際会議場

響ホール

メディアドーム

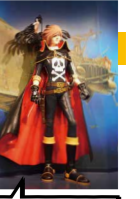
- 7月4日 ジャパンエキスポ「北九州博覧祭2001」開催(～11月4日)
- 11月16日 子どもの館「HOW!？」開設
- 平成14年【2002年】
  - 2月26日 北九州市人権・同和行政の基本方針策定
  - 4月6日 環境ミュージアム開設
  - 4月13日 到津の森公園開園
  - 8月23日 世界車椅子バスケットボール選手権大会「北九州ゴールドカップ」開催(～9月1日)
  - 11月3日 いのちのたび博物館(自然史・歴史博物館)開設
- 平成15年【2003年】
  - 4月1日 早稲田大学大学院情報生産システム研究科と北九州市立大学大学院国際環境工学研究科が北九州学術研究都市に開設
  - 4月20日 平尾台自然の郷開園
  - 8月11日 北九州芸術劇場を開設
- 平成16年【2004年】
  - 8月26日 若者ワークプラザ北九州開設
  - 9月28日 ホームレス自立支援センター北九州開設
- 平成17年【2005年】
  - 4月1日 ひびきコンテナターミナル供用開始
  - 10月25日 北九州市自然環境保全計画策定
  - 12月23日 子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」開設
- 平成18年【2006年】
  - 2月26日 東九州自動車道(北九州)CT～苅田北九州空港IC)開通
  - 3月16日 新・北九州空港開港
  - 11月1日 文学館開設
- 平成19年【2007年】
  - 1月25日 北九州市国民保護計画策定
  - 2月4日 市長選挙、12代(～現在)市長に北橋健治氏
  - 4月2日 プラスチック資源化センター稼働開始
  - 4月21日 北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)開設
  - 5月27日 政令市初・九州初の「ほたるサミット」開催(～28日)
  - 6月1日 紫川マイタウン・マイリバー整備地区が都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」受賞
  - 6月1日 全国初の「リサイクルポート」供用開始
  - 7月1日 北九州学術研究都市にカー・エレクトロニクスセンター開設
  - 7月18日 北九州市集客交流計画(にぎわいづくりプラン)策定
- 平成20年【2008年】
  - 4月1日 モラルマナーアップ関連条例施行
  - 7月22日 「環境モデル都市」に国が認定
  - 10月2日 北九州市応援団を発足
  - 12月8日 北九州市基本構想・基本計画「元気発進!北九州プラン」を策定
- 平成21年【2009年】
  - 4月17日 ベトナム・ハイフォン市と交流協定締結
  - 5月25日 「北九州市食育推進計画」を策定
  - 7月27日 「北九州次世代エネルギーパーク」をオープン
  - 9月18日 八幡東区東田に「北九州水素ステーション」が完成
  - 11月13日 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を策定
- 平成22年【2010年】
  - 2月10日 北九州市非核平和都市宣言
  - 4月2日 「次世代エネルギー・社会システム実証地域」に国が選定
  - 6月3日 ロシア・チェリャビンスク市と経済協力協定を締結
  - 6月4日 アジア低炭素化センターを開設
  - 7月1日 北九州市暴力団排除条例を施行
  - 10月1日 北九州市自治基本条例を施行
- 平成23年【2011年】
  - 3月9日 初の海外水ビジネスをカンボジア・シェムリアップ市で受注
  - 3月12日 東日本大震災の被災地支援開始
  - 4月6日 被災地支援のための「絆プロジェクト」開始
  - 6月17日 経済協力開発機構(OECD)からグリーンシティプログラム「グリーン成長都市」に認定
  - 10月11日 全区役所でワンストップサービス開始



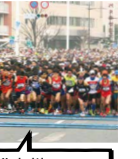
世界車椅子バスケットボール

北九州空港

- 12月22日 環境未来都市、国際戦略総合特区に選定
- 平成24年【2012年】
  - 4月2日 水・環境ソリューションハブに国が認定
  - 7月1日 黒崎副都心「文化・交流拠点地区」オープン
  - 8月3日 漫画ミュージアム開設
  - 8月31日 東日本大震災による宮城県石巻市の災害廃棄物の受け入れについて、宮城県と委託契約を締結
  - 9月15日 新若戸道路(若戸トンネル)が開通
  - 10月6日 響灘ピオトオープン
  - 10月20日 ご当地グルメの祭典! B-1グランプリin北九州を開催(～21日)
  - 11月12日 スラバヤ市(インドネシア)と環境姉妹都市に関する覚書を締結
- 平成25年【2013年】
  - 2月6日 独立行政法人国際協力機構(JICA)と環境に関する連携協定を締結
  - 2月10日 市制50周年記念式典を開催
  - 3月28日 北九州市新成長戦略を策定
  - 5月5日 日中韓三カ国環境大臣会合開催(～6日)
  - 5月23日 OECDグリーンシティ・プログラムの北九州レポートが発行
  - 7月11日 日本貿易振興機構(ジェトロ)と連携協定を締結
  - 8月23日 市制50周年記念事業「市民太陽光発電所」が竣工
  - 9月17日 「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が世界文化遺産に推薦決定
  - 10月25日 産業用ロボット導入支援センターを開設
- 平成26年【2014年】
  - 2月9日 市制50周年記念 北九州マラソン2014を開催
  - 4月18日 ベトナム・ハイフォン市と姉妹都市協定を締結
  - 6月25日 新成長戦略 都心集客アクションプランの公表
  - 10月9日 ベトナム・ハイフォン下水道排水公社と下水道技術協力・交流に関する覚書を締結
  - 10月10日 夜景サミット2014in北九州開催
  - 10月23日 北九州フィルム・コミッション「東京ドラマアウォード2014特別賞」受賞
- 平成27年【2015年】
  - 3月17日 「洋上風力発電モデル地域」採択
  - 4月17日 官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース開設
  - 7月8日 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録
  - 10月17日 「TGC KITAKYUSHU 2015 by TOKYO GIRLS COLLECTION」を初開催
- 平成28年【2016年】
  - 1月29日 国家戦略特区に指定
  - 3月29日 カンボジアの首都・プノンペンと姉妹都市協定を締結
  - 4月24日 東九州自動車道(北九州市～宮崎市間)が全線開通
  - 5月12日 G7北九州エネルギー大臣会合開催
  - 7月2日 「50歳から住みたい地方ランキング」で北九州市が全国第1位を獲得
  - 8月29日 国家戦略特区「シニア・ハローワーク戸畑」開所
  - 11月10日 第2回世界獣医師会・世界医師会「One Health」に関する国際会議(～11日)
  - 12月1日 戸畑祇園大山笠行事のユネスコ無形文化遺産登録(現地時間11月30日)
- 平成29年【2017年】
  - 2月1日 ミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)オープン
  - 4月28日 日本遺産「関門「ノスタルジック」海峡」認定
  - 5月10日 証明書コンビニ交付サービス開始
  - 7月10日 平成29年7月九州北部豪雨災害復旧・支援本部の設置
  - 11月3日 市立美術館リニューアルオープン
  - 12月26日 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞
- 平成30年【2018年】
  - 2月10日 市制55周年記念式典を開催
  - 4月18日 OECDが「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に本市を選定
  - 6月15日 「SDGs未来都市」に選定



漫画ミュージアム



北九州マラソン2014

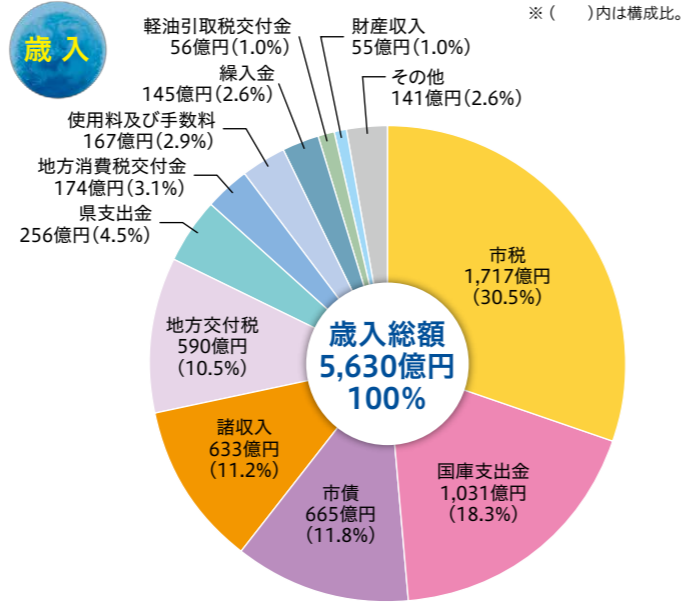
# データで見る北九州市

## 平成30年度一般会計予算(歳入・歳出)

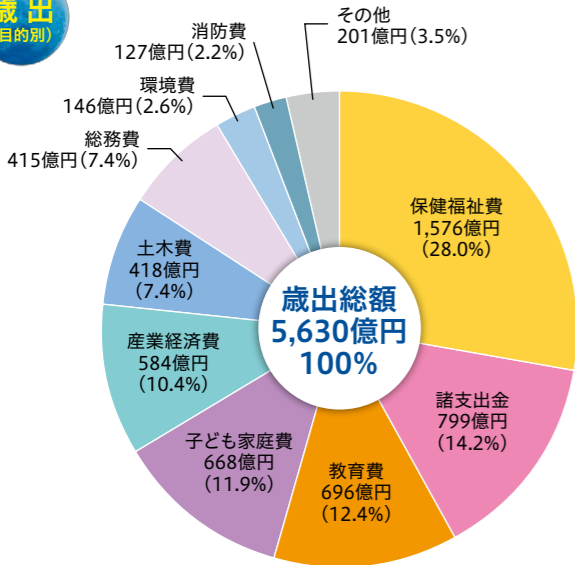
平成30年は、北九州市の誕生から55周年の節目の年です。まちのにぎわいを生む、文化・芸術・観光・スポーツなどの各種取り組みを進め、国内外への情報発信に努めます。取り組みの柱は、次の4つです。

- ①にぎわいを創出し、新しいひとの流れをつくる
- ②魅力あるしごとを創出し、活力あるまちをつくる
- ③安心して子どもを生み育てることのできるまちをつくる
- ④誰もが安心して暮らせるまちをつくる

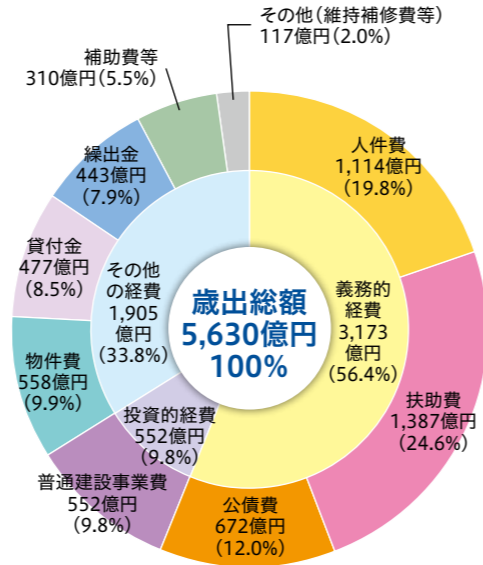
市税や地方交付税などの一般財源に限られる中、より一層の事業の選択と集中を図るとともに、行財政改革を絶え間なく進め、今後も安定した行政サービスを提供し、豊かな未来を目指して力強く躍進します。



## 歳出(目的別)

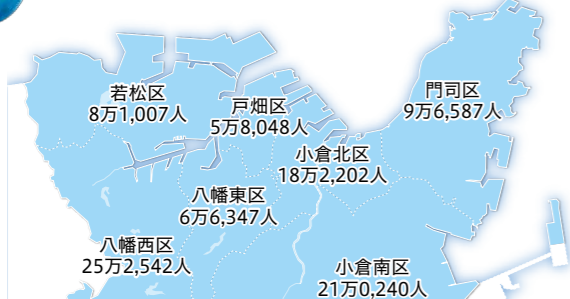


## 歳出(性質別)



## 人口

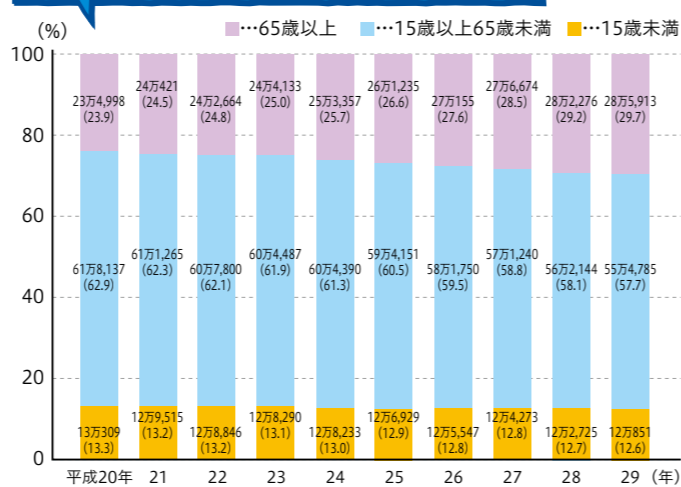
総数…94万6,973人 ※平成30年6月1日現在 (対前年同月比5,102人減)



●世帯数…43万0,449世帯 ●面積…491.95km<sup>2</sup>

※平成27年国勢調査に基づく推計人口および世帯数。面積は平成30年6月1日現在。

## 年齢3区分別人口の推移(各年9月30日現在)



※住民基本台帳に基づく人口。24以降は外国人も含む。

# 北九州市アラカルト

## 市章



市章を形づくる5つの花びらは、合併による旧5市の一体化を表し、中央は北九州の「北」と九州の「九」、および「大」の字を表しています。また、星形の図案は、歯車で工業を、放射形で市の発展を、それぞれ表しています。

## 北九州市7区の紹介

門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
門司港レトロ地区をはじめとする豊かな観光資源を有し、海峡と歴史のロマンあふれるまち。古くから九州の陸、海の交通の要衝として栄えてきました。	商業や流通、金融、情報、医療、コンベンションなどの機能が集積した、北九州都市圏の中核をなすまち。城下町としての歴史や文化も薫ります。	日本有数のカルスト台地として知られる平尾台等、多彩で豊かな自然に加えて、北九州空港や自動車産業など、新しい産業が息づく躍進のまちです。	若松北海岸やグリーンパーク等の豊かな自然に加え、環境産業のまちとしてエコタウン事業、次世代エネルギー関連施設などの集積が進んでいます。	官営八幡製鐵所関連施設を始め近代化産業遺産が数多く、皿倉山からの眺望は新日本三大夜景に選定。環境分野の先進的な取り組みも注目されています。	市内で最も人口が多く、充実した都市機能をもつ副都心。学園都市のにぎわいや長崎街道旧宿場町などの歴史、美しい自然が融合するまちです。	ユネスコ無形文化遺産の「戸畑祇園大山笠行事」を有する歴史に加え、教育、文化、福祉などの施設が充実。心豊かで快適な生活が楽しめる、文教のまちです。

## 北九州市の花とシンボルツリー

昭和57年に市民の皆さんからの応募をもとに、市の花として「つつじ」と「ひまわり」を制定しました。「つつじ」は、公園や公共施設などで、市民に広く親しまれている花です。「ひまわり」は花が太陽に向き、活力にあふれていることから、ダイナミックな北九州市を象徴する花です。「いちいがし」はブナ科の高木で、幹は枝分かれが少なく直立し、高さ30m以上、直径1m以上に成長します。天に向かってそびえる姿が美しく、北九州市域の郷土樹であることから、シンボルツリーに選ばれています。



## 姉妹都市・友好都市

<b>タコマ市(アメリカ)</b> 昭和34年(1959年)6月、姉妹都市を締結。シアトル市の南方に位置し、コメンスメント湾に面したワシントン州第3の都市。 ●人口約20万人 ●面積129km <sup>2</sup>	<b>ノーフォーク市(アメリカ)</b> 昭和34年(1959年)7月、姉妹都市を締結。バージニア州チェサピーク湾に臨む約300年の歴史を持つ都市。 ●人口約25万人 ●面積140km <sup>2</sup>
<b>大連市(中国)</b> 昭和54年(1979年)5月、友好都市を締結。遼東半島の南端に位置し、中国東北地方最大の貿易港である大連港を擁する港湾都市。 ●人口約596万人 ●面積1万2,574km <sup>2</sup>	<b>仁川広域市(韓国)</b> 昭和63年(1988年)12月、姉妹都市を締結。首都・ソウルの西方約28kmに位置する韓国西海岸の交通・産業の中心都市。 ●人口約300万人 ●面積1,046km <sup>2</sup>
<b>ハイフォン市(ベトナム)</b> 平成26年(2014年)4月、姉妹都市を締結。ベトナム北部、首都ハノイ市の東100kmに位置する北部最大の港湾都市。 ●人口約196万人 ●面積1,562km <sup>2</sup>	<b>プノンペン都(カンボジア)</b> 平成28年(2016年)3月、姉妹都市を締結。カンボジアの首都で、政治・経済・文化の中心地であり、カンボジア唯一の大都市。 ●人口約201万人 ●面積684km <sup>2</sup>